

主な内容

- 一般質問議員と質問項目……………1
- 一般質問から……………2・3
- 主な質疑……………3
- 6月定例会 議案等審議結果一覧……………4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



境小学校運動会で精いっぱい綱を引く児童たち(令和元年6月1日)

6月定例会が6月4日(火)に招集され、6月10日(月)までの7日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は4ページに掲載しています。

*議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第166号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

村上 進一 議員

- 1 平成31年3月策定第2次那須烏山市環境基本計画について
- 2 観光事業の活性化について
- 3 **高齢者支援対策について**
- 4 成年後見制度について

中山 五男 議員

- 1 **本庁舎整備計画について**
- 2 日本は自然災害大国と言われているが、本市の対応策について
- 3 小中学校トイレの洋式化について
- 4 全国学力テストの対応策について

平塚 英教 議員

- 1 消費税増税について
- 2 幼保無償化について
- 3 国民健康保険税について
- 4 認知症対策について
- 5 デマンド交通運行について
- 6 **市庁舎整備基本構想について**

青木 敏久 議員

- 1 平群山を活用した地域振興について
- 2 市の鳥「からす」について
- 3 **二宮尊徳の思想を活かした教育振興について**

福田 長弘 議員

- 1 **那須烏山市観光振興ビジョンについて**
- 2 なすから男女共同参画計画について
- 3 地域資源の活用について

興野 一美 議員

- 1 **担い手の確保、育成について**
- 2 水田の維持管理について
- 3 農作業の事故について
- 4 給水車の導入について
- 5 **ハザードマップを利用した防災教育について**

相馬 正典 議員

- 1 地域おこし協力隊の今後の活動について
- 2 職員の心理的負担軽減について
- 3 新たな公共の担い手の育成と活用について
- 4 **清水川せせらぎ公園について**
- 5 **八溝そばブランド力向上支援事業について**
- 6 将来に向けた胃がん対策としてピロリ菌の検診について

渋井 由放 議員

- 1 **ごみの収集について**
- 2 災害時の対策について
- 3 市有施設整備基金の活用について

小堀 道和 議員

- 1 **トップマネジメントに期待したいこと**
- 2 地元が信頼し応援したくなる学校づくりについて

矢板 清枝 議員

- 1 **英語教育の取り組みについて**
- 2 いじめ対策について

滝口 貴史 議員

- 1 シティプロモーションについて
- 2 八溝そばの今後の展開について
- 3 **文化財等を活用した観光振興について**
- 4 学校教育について
- 5 ジュニアアスリート育成強化事業について

※赤字になった項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

議会の動き

平成31年4月

27日○議会だより第52号発行

令和元年5月

20日○庁舎整備検討特別委員会視察研修(那珂川町)

28日○議会運営委員会

○議員全員協議会

6月

4日○第2回6月定例会(10日まで)

○文教福祉常任委員会

○経済建設常任委員会

5日○議会改革特別委員会

○J R利用促進等特別委員会

6日○総務企画常任委員会

7日○議員全員協議会

○議会広報委員会

7月

10日○議会広報委員会

○議会報告会運営チーム

17日○議会広報委員会

令和元年6月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。

村上進一議員

高齢者支援対策について

(問) 現在、高齢者が運転する車の事故が多発し、社会問題となっている。運転免許証を返上できない地域環境も考えられる。高齢者の外出支援サービスの充実が必要と考えるが取り組みについて伺う。

(答) 市では、自主返納支援を含む外出支援サービスとして、福祉タクシー事業、外出支援サービス事業、大木須・小木須地区を対象とした買い物バスツアー等を実施している。その他にも、デマンド交通を初めとした公共交通事業の実施や、運転免許証自主返納支援事業におけるタクシー券の配付、また、高齢者の移動手段の確保につながる施策を展開している。

福祉法人の車両を用いた地域住民による外出支援等も参考にし、多様な支援方法について調査研究を進める方針である。

中山五男議員

本庁舎整備計画について

(問) 市長は、今年度の抱負の中で本庁舎整備を掲げている。そこで、市長在任中、本庁舎建設をどの段階まで進める考えか伺う。

(答) 市長在任期間にこだわることなく、できる限り早期に実現に向け検討したい。

(問) 本庁舎本体の建設費だけで30億円を見込んでいるが、その他関連する事業に多額の費用を要する。そこで市は、庁舎建設にいかほど準備できるのか伺う。

(答) 総事業費の限度額は、基本計画の策定中に試算する予定であり、細かくはお答えできない。

(問) 庁舎建設事業費の財源内訳と、その確保策について伺う。

(答) 現在積み立てを続けている庁舎整備基金、合併特例債及び一般財源等を考えている。

(問) もし、本庁舎を烏山地区に置く場合、南那須地区の支所が取り扱う事務事業の範囲について伺う。

(答) 市民窓口の設置など利便性を十分検討している。

(問) 庁舎建設に多額の費用を投入するが、市民が新庁舎に期待できることは何か伺う。

(答) 来庁する市民の利便性が高まることや危機管理体制等が整うことにある。

平塚英教議員

市庁舎整備基本構想について

(問) 本年3月12日の新聞報道で、まだ決定していない市庁舎建設がひとり歩きしている状況にある。県内で自主財源比率が最も乏しく、少子高齢化の進む本市において、那須南病院の大規模改修や保健衛生センターのごみ処理、し尿処理施設の土地購入を含めた移転建て替えなど、将来に向けて重要な大型事業が予定されている。市庁舎整備だけでなく本市の長期的な財政見直しを含め総合的に検討を図るべきと考えるが、市の考えを伺う。

(答) ご指摘のとおり、新庁舎の整備、那須南病院の大規模改修、ごみ処理施設、し尿処理施設整備など、本市の将来に向け重要な大型事業が予定されている。今後、新庁舎整備の財源確保の調査研究など大型事業や公共施設再編、長寿命化に備え、予算規模の縮減を図るなど、一層の財政健全化に努めるとともに、広域行政も含む関係機関との連携を密にして、中期財政計画の見直しを図るなど、健全な財政運営と市民生活に影響がないように計画的な事業の執行に努めてまいりたい。

青木敏久議員

平群山を活用した地域振興について

(問) 平群山展望台公園を創設してどうか伺う。

(答) 平群山は、本市における貴重な観光資源のひとつである。ハード事業の側面からだけでなく、観光PRを初めとするソフト事業の面から誘客に向けた取り組みを推進したい。



平群山からの景色

(問) 恋人の聖地化について伺う。

(答) 話題性のある、非常にユニークな取り組みであると感ずる。今後の観光資源対策の参考としたい。

市の鳥「からす」について

(問) 八咫鳥のサミット開催について伺う。

(答) 野州八咫鳥の会の活動で、サミット等を行う際には、体験型見学会のような地域資源の活用を伴う取り組みとあわせて、側面的支援を行っていききたい。

二宮尊徳の思想を活かした教育振興について

(問) 烏山高校の烏山学への報徳仕法の導入について伺う。

(答) 烏山学で報徳仕法に

触れたとは聞いていないが、今年度は3年生も対象とした烏山学も追加され、全学年で実施される。今後、烏山高校と協力しながら、烏山学をさらに発展させたい。

福田長弘議員

那須烏山市観光振興ビジョンについて

(問) 那須烏山市観光振興ビジョンは、第3期計画として策定され、5カ年の取り組みが昨年度から始まり、1年間で進捗が速い。観光振興ビジョンの初年度の進捗状況について伺う。

(答) 観光振興ビジョン第3期計画の初年度となる平成30年度においては、通年観光による観光客の増加を目指し、イベント中心であった従来までの観光施策を抜本的に見直した。特に、体験型、交流型、滞在型の要素を取り入れた、着地型観光の基礎となるまちなか観光ネットワークの再構築を最重点事業に位置づけ、約10年ぶりと見直しを図り、今年4月から運用を開始した。今後も、随時内容の見直しや追加を行い、最新の情報をリアルタイムに発信していく。そのほかにも烏山城築城600年を記念した特別企画を実施するなど、おおむね予定した事業は計画通り進捗した。

興野一美議員

(問) 農地の集積、集約を担い手の確保、育成について

(答) 農地の集積、集約を

今後どう進めるか、特に農地中間管理機構をどう使うか、また「人・農地プラン」は機能しているのか伺う。

(答) 本市の農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や新規就農者の減少、地域における担い手の不足など、非常に厳しい状況である。農業経営の基盤である農地の維持、保全を図るため、農地の集約、集積化は重要な取り組みの一つと考えている。本市の集積率は、平成31年3月末現在、43%であり、令和5年度までに集積率60%を目標としている。農業関係団体と連携を図りながら、農地集積率の向上に取り組むたい。

防災教育について

(問) 小学校、中学校において、ハザードマップを利用した防災教育は有効であると考えられるが可能か伺う。

(答) 児童生徒の生命を守るべく教育課程を編成しており、ハザードマップを活用した防災教育も実施している。かけがえのない子供たちの生命を守り、安心安全な生活を送れるよう、地域の協力を得て、今後とも危機管理の徹底を図っていききたい。

相馬正典議員

清水川せせらぎ公園について

(問) 平成29年6月の市議会一般質問において水路部分の巨石を撤去して、広場としてリニューアルしてはどうかと伺った。都市の付

加価値・魅力づくりの観点から改めて市長の見解を伺う。

(答) 公園内の巨石、コンクリートが廃棄物になってしまふ。それを全部撤去すると、大がかりな作業になると、少しずつ広場を広げていくということ、前向きに取り組んでまいりたい。

八溝そばブランド力向上支援事業について

(問) 平成28年度新規事業として、八溝そばブランド力向上支援事業が開始されたが平成30年度をもって、事業は全て廃止された。目まぐるしく施策が変わってしまった、その理由について伺いたい。

(答) 販売補助では最大限の効果が出ないと判断し、今年度からの3年間は、畑を活用した良質のそばの生産振興補助に切りかえたためである。



一面に広がるそばの花

渋井由放議員

ごみの収集について

(問) ごみの収集日数は、烏山地区が242日に対し南那須地区は221日である。全く同じ種類を集めて

いるのになぜ異なるのか。また、収集方法の見直しは、どのように行われるのか。

(答) 生ごみなどの燃やすごみは、原則週2回、それ以外の生ごみは月1回の収集となり、南那須地区は6種類を3日で集めている。

収集方法の見直しは、市民への周知や、家庭ごみ収集業務委託業者との収集能力の調整等も必要であることから契約更新時となる。

(問) 今回の更新時は、しっかりと検討したという経緯はあるのか。

(答) 検討はしたものの、少し足りなかったと考えている。

(問) 松戸市では、衣類・毛布を一緒に集めている。業者に確認すると毛布も売れるので買えるとのことである。現在は、処理費をかけて処分しているが、売却に向けた対応ができるのか何う。

(答) 毛布は、1キロ1円で買い取ってくれる状況である。保健衛生センターでは、毛布売却の契約を交わす方向で考えている。

小堀道和議員

トップマネジメントに期待したいこと

(問) 本市は、厳しい財政の中、人口減少や少子高齢化、各種産業の衰退化などを抱えているが、攻めのまちづくり推進のために強力なトップマネジメントが必要不可欠である。先進事例として香川県三豊市の日本初燃やさないごみ処理、

トンネルコンポスト方式導入がある。トップのリーダーシップにより意識を改革し、PFI方式の採用で市負担金の最小化に成功したと聞く。挑戦意欲向上施策も含めトップマネジメントの見解を伺う。

(答) 三豊市のごみ処理施設における新方式導入は、職員との信頼関係とトップマネジメントがなければできないことであり、市政運営等の参考としたい。積極的に挑戦する文化醸成については、若手職員とのランチミーティング等で鼓舞し「意欲をもって働く職員」の増加を図っていく。

(問) 本市が誇る観光資源を活用し、世界中が驚くPRビデオ制作について伺う。

(答) 市全体のシティブロモーションの戦略的な取り組みの中で調査研究して、高校生や市民からの要望等を踏まえ検討していきたい。

矢板清枝議員

英語教育の取り組みについて

(問) 新学習指導要領の2020年度からの全面実施を見据えた英語教育の取り組みについて伺う。

(答) 平成20年度より教育課程特例校の指定を受け、小学1年生から英語コミュニケーション科目を実施し、あわせて幼稚園・保育園へのALTの派遣も継続実施している。今年度より県に加配職員として英語専科教

員が1名配置され、江川小、荒川小、境小、七合小で外国語活動の授業を実施している。今年度はこの取り組みの成果を検証し、来年度以降の配置等について、県教育委員会と協議・連携していく。

また、ALTの配置は、今年度より派遣業務委託とできる。各校1名配置されたALTを小学校間で交流させたり、外国語活動の時間以外にもALTが授業等に参加したりするなど、児童が英語に触れる機会を今まで以上に増やしている。

滝口貴史議員

文化財等を活用した観光振興について

(問) まちなか観光ネットワークは、豊富な地域資源を結ぶ複数の観光ルートを設定したものと説明を受けているが、数多くの寺社仏閣等の文化財を活用した観光振興策も非常に有効であると考えられる。本市としても、積極的に推進していくべきと思うが、市長の考えを伺う。

(答) 寺社仏閣等の文化財を活用した観光振興は、非常に有効であると考えている。近年、インバウンド推進により、多くの外国人観光客が日本を訪れている。本市においても、寺社仏閣を初め貴重な文化財が数多く存在しており、多くの観光客が市内で御朱印めぐりを楽しんでいる。文化財を観光資源として活用するこ

とは、広く本市の魅力を発信できるよい機会になる。貴重な観光・地域資源としてまちなか観光ルートに組み込み、市内外にPRを図っていききたい。また、近隣自治体とも連携を図り、広域観光ネットワークとしてエリアを拡張し、さらなる観光客の誘客につなげていきたい。



市有形文化財に指定されている太平寺仁王門

6月定例会の本会議日程と傍聴者数

Table with 3 columns: Date, Content, and Audience Count. Rows include dates from 6/4 to 6/10 and a total count of 61.

主な質疑

6月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

専決処分の承認を求めることについて(平成30年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について)

議員 庁舎整備基金積立金に、1億2千万円積み立てたことだが、総額では今、いくら積み立ててあるのか何う。

答弁 庁舎整備基金の積立額は、この専決処分を受けて、平成30年度末現在で、8億7014万円である。

那須烏山市条例等の一部改正について

議員 軽自動車税が主な改正点であるが、軽自動車税の増減額を伺う。

答弁 軽自動車に関して、県から軽自動車の取得税に係る分の交付金が交付されているが、10月の消費税増税と同時に、自動車取得税が廃止される。新たに環境性能割が課税されるが、県全体で2割程度の縮減が見込まれている。なお改正後の環境性能割軽減の臨時的措置分は、国費で全額補填になる。

那須烏山市国民健康保険条例の一部改正について

議員 今回の改正で、課税限度額が54万円から58万円に4万円引き上がるが、この限度額納税者はおよそ何人になるか何う。

答弁 改正前の限度額54万円を超過している世帯は71世帯で、国保の世帯に占める割合は1.5%である。改正後の限度額58万円を超過している世帯については64世帯で、全体の1.4%となる見込みである。

令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第1号)について

議員 大桶運動公園施設整備費は、国体の開催を見据えた施設整備費だが、歳入では社会資本整備総合交付金で400万円、市の持ち出しが440万円である。その内訳を詳しく伺う。

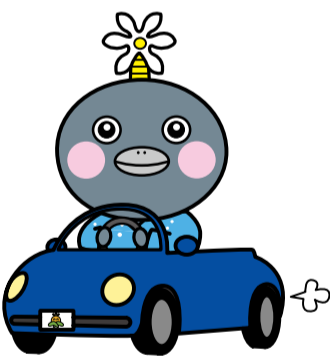
答弁 2022年の国体の開催を見据えた都市公園の再整備ということ、予算を計上した。内訳については、駐車場のリニューアルのための測量調査費として840万円計上した。840万円のうち、交付金対象額が800万円、その2分の1の400万円は国費を充当する。残りの440万円が市の負担になる。



国体会場となる大桶運動公園

議員 プレミアム付商品券だが、本市では過去7、8回ほどプレミアム付商品券を出していた。今回は、住民税非課税の方と、子育て世帯に限って行うということだが、一般の市民の方に周知を徹底しなければ、混乱が起きると思われる。周知の考え方を伺う。

答弁 プレミアム付商品券については、今回、住民税非課税の方と子育て世帯に限定されている。市民への周知については、7月の事業者募集の段階から広く周知していると考えている。一般の方がどうして買えないのかという点、もともと消費の喚起ということ、10月以降のクレジットカード等の利用によるキャッシュレス決済のポイント還元が基本的な国の消費政策のメインであり、対象者向けに商品券で対応する趣旨であるため、それらも含め周知していきたいと考えている。



(全会一致)

6月定例会 議案等審議結果一覧

議案等		審議結果	議案等		審議結果
報告第1号	平成30年度那須烏山市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	議案第4号	那須烏山市税条例等の一部改正について	可決
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について)	承認	議案第6号	那須烏山市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(那須烏山市税条例等の一部改正について)	承認	議案第7号	那須烏山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決

※掲載は採決順。

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	淡井由放	久保居光一郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第5号	那須烏山市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で沼田議長は表決に加わらない。

暑中お見舞い申し上げます

議員は公職選挙法により選挙区内の方に、暑中見舞い、年賀状、寒中見舞いなどの挨拶状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことは禁止されております。

また、お中元、お歳暮や祭りへの寄附、地域の運動会、スポーツ大会への飲食物の差入れなどは寄附に該当し禁止されております。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

那須烏山市議会議員一同



リゾートぶなからすやまで訪れた観光客を歓迎する議員

委員長 高田 悦男

この列車でお越しいただいたお客様を歓迎する「お出迎え」のため、市議会議員の他、イメージキャラクターター達も集合。車内では、那須塩原市在住高校生による津軽三味線の演奏、高根沢町の中島伸雄さんによる鉄道唱歌などのミニライブが行われました。駅前広場ではアキユムに関するクイズ大会、車掌アナウンスコンテストが開かれ、烏山高校郷土芸能部のお囃子も演奏されました。駅前の『山あげそば』では那須烏山市のB級グルメとコラボした「カレーコロッケうどん(そば)」を堪能していただきました。

JR烏山線利用促進等 特別委員会

活動報告

花冷えも一休みした4月6日、青森〜秋田間の五能線を走っているJR東日本の「リゾートしらかみ(撫編成4両)」が、アフターDのオーブンング列車「リゾートぶなからすやま」として栃木県内を初めて運行することになり、浦和駅を出発して烏山駅に到着しました。



那珂川町の職員から説明を受ける委員

委員長 久保居 光一郎

本市の重要課題である本庁舎整備のため、議会の見地から調査・検討を行うことを目的とする庁舎整備検討特別委員会が昨年の6月に設置されました。その後、本庁舎整備に関する素案が執行部から示されたことから、委員会において論議を進めているところです。その活動の一環として去る5月20日に、平成29年9月に竣工した那珂川町庁舎の視察研修を行いました。はじめに、庁舎建設に携わった関係職員の方から、庁舎建設に至るまでの経緯や総事業費等の説明を頂いたあと、庁舎内を視察させていただきました。全体的に町有林の杉材が活用されており、高齢者や障がい者にも配慮された構造であることから、町民に愛される庁舎としての工夫が感じられ、大いに学ぶところがある有意義な研修でした。

庁舎整備検討 特別委員会

活動報告

9月定例会は、9月3日(火)開会予定です

※正式な日程は、8月27日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)



表彰を受けた中山議員

表彰

6月14日、県公館において、中山五男議員が栃木県自治功労者表彰を受賞しました。

あしがき

6月定例会の報告となる第53号の議会だよりを市民の皆様にお届けする頃には、強い日差しが夏の本番とユネスコ無形文化遺産に登録された『烏山の山あげ行事』が本番を迎えている頃だと思います。熱中症に注意してください。

日本の経済は安倍政権が経済成長を第一に掲げ、政策を推し進めてきたことにより、いびつな成長が見られ、格差社会が拡大しているように思います。

さて、市政においては議員、職員、一人一人が、事業を自分のこととして取り組む姿勢は、新たな発想を生み出す原動力となり、意識の高い個人が多くなれば、組織は強くなります。チームワークが生まれ、チームワークが強固になれば、想定外の事態が起きたとしても必ず対応策を講じることができると思います。オープンな議論を尽くして決断し、共通の目標に向かって、自信を持って実行していきたいと考えます。明日のために!

(興野一美議員)

